

大手レコード会社が還暦を過ぎた新人アーティストを相次いでデビューさせる。それも「オヤジバンド」など趣味の延長で活動するアマチュアではない。光を当てるのは、長年メジャーデビューする機会がなかったものの、しっかり固定ファンを抱えるプロたちだ。各社が見据えるのは団塊世代やその周辺層。音楽市場活性化の期待を胸に、地道な発掘作業が進んでいる。

大手レコード各社

「一緒に紅白(歌合戦)にいきましようね」。今月十七日、東京・代官山のイベント会場は、詰めかけた百人以上の女性客の拍手と歓声であふれかえった。

イベントの主演はシャノン歌手の若林ケンさん。六月二十七日にデビューアルバム「花束」Boquet de CH ANSON」を発売する。六十二歳でのメジャーデビューだが、本人は「ネバートウーレイト。遅すぎることは何もない。燃えて燃え尽きたい」と熱く語る。この日はアルバムに収録する「嘆きの天使」など五曲を熱唱。歌声に多くのファンが目頭を潤ませた。

去歴は長い。一九七〇年代前半から、銀座のシャノンカフェや自ら経営する店などで歌い続けてきた。甘いマスクと渋い歌声は口コミでファ

「還暦アーティスト」発掘

エンタビズネス



長野文憲さんは60歳でギターソロアルバムを発売する。~~~~~
 含め新タイトルを発売し、話題を継続させようともくろんでいる。
 四月下旬、長野県軽井沢町の音楽ホールで、あつた。アーティストは「六弦の魔術師」の異名をもつギタリスト、長野文憲さん。六月二十日に六十歳でのメジャーデビューが決まった。
 アルバム「千の風になつて」には、「禁じられたい」と思っていた。何度も長野さんの元に足を運び、一年かけて口と意欲を燃やす。

ンを引き寄せ、ソロの抱え、新譜を制作するのは初めの試みだ。CDを発売するのは、SMDRで販促を統括する田和一樹部長は「タニー・ミュージックダイレクト(SMDR、東京千代田)。ソニー・ミュージックエンタテインメントの子会社として、レクするジャンルでは、下半期にはDVDなども

魅固定ファン 団塊世代取り込む

旧譜の活性化や復刻、コないが、「一度好きになン・ピレシジョンCDの制ると、ずっとファンでい作を手がける。会社としてくれる世代でもある」て新人アーティストをと。もともと若いこ



シャノン歌手の若林ケンさんは62歳でメジャーデビューする

落ち込み続く音楽市場

遅咲きの新人デビューは、たまに演歌で見られるもの、他の分野ではめったにない。若い新人のように投資をして育成する時間がない。中高年のデビューは、完成品が求められるというハ職が始まった団塊世代は巨大

CD販売活性化に期待

CD販売を活性化させれば、音楽市場全体の落ち込みにも歯止めをかけられる。その有力コンテンツの一つとして「還暦デビュー組」は位置付けられる。大人の渴望感を満たす楽曲を地道に提供し続ければ、たとえ大ヒットはなくても、巨大市場を着実に掘り起こせるはずだ。(小川和暢)